

学校だより

埼玉大学教育学部附属特別支援学校
平成30年度 学校通信 No.10
平成31年2月18日



公開授業研究会、ありがとうございました

2月9日（土）、小雪の降る中、公開授業研究会が無事、終了しました。

この冬は晴天が多く、むしろ乾燥注意報が出される状況でしたが、ちょうどこの日に限って雪の予報で、しかも大雪の予報が出ていたため、開催の判断に迷いました。

ただ、いろいろな気象情報を集め、さいたま市エリアはそれほど積もらない、という予報をもとに、予定通り開催させていただきました。予報よりも早い時間帯に降り始めヒヤヒヤしましたが、午後には雪もとけ、ほっといたしました。

前回の学校だよりでもお伝えしましたとおり、今年度はこれまでの研究協議会の名称ではなく、公開授業研究会という名称で実施しました。参加した先生方と授業について話し合う中で、指導法や効果的な支援をはじめとした内容を深めていくものです。

雪が降るだけあって、当日は気温も上がらず、子どもたち、保護者の方々も寒い思いをされたことと思います。そのような天候でしたが、午後の意見交換会では、会が進むにつれて話し合いは熱くなり、熱を帯びてきました。来た方も私たちも大変勉強になった一日でした。

当日のお手伝いや足下の悪い中での登下校など、いろいろご理解とご協力をいただきました。あらためて感謝申し上げます。

フェンスの取替工事について

すでにご覧になった方も多いかと思いますが、本校の道路側のフェンスの一部を取り替える工事を行いました。これは、古い基準で作られた部分のフェンスを、新しい基準に合うようにしたものです。

防犯上の観点から、大型のフェンスをつけており、外観上の統一感という点では色合いを統一するというものでお願いしました。



目指すものは… 「うさぎとかめ」の話

イソップ物語（寓話）に、「うさぎとかめ」というお話があります。有名な話ですので、あらすじはここに紹介するまでもありませんが、山のふもとまでのかけっこ勝負で足の遅い亀がうさぎに勝ってしまうものです。

この話は、「生まれつきの長所もおろそかにしていると、努力のほうに勝ることがよくある」という教訓を伝える物語（寓話）です。

最近「なぜ足の速いうさぎが負けたのか」という理由に、新しい解釈があると聞き、紹介します。（亀が薄情だった、ということではありません。）

それは、「うさぎと亀とでは、目指すところが違うからだ」ということです。「うさぎは亀を見ながら走り、亀はゴールだけを見すえて歩いた。目標の設定に、決定的な差がある。」というものです。

何か新しいことにチャレンジする時、しばしば私たちは「周りはどうなんだろうか？」ということに頼りに進めることがあります。そのような時、もしかしたら追うべきものを誤り、ゴールにたどり着けないということもあるかもしれません。新しい解釈にたつと、「目指すものは何か」を見すえて進むことの強さを、亀が教えてくれるお話といえます。